

# ■セキセイインコと誕生日

E / E / A / E E / E / A / E

②

E B7 C#m C#monB ①  
 白いボールを夢中においかけて  
 A B7 E / A E  
 背番号のないユニフォームが汚れた  
 E B7 C#m C#monB  
 くたくたになって帰った家には  
 A B7 E  
 小さな妹が積み木で遊んでる

E / E / A / E

E B7 C#m C#monB  
 どうして お前の親は いつも  
 A B7 E / A E  
 夜に になると 出かけていくんだ  
 E B7 C#m C#monB  
 同級生は 首を 斜めに して  
 A B7 E  
 あざ笑うように そう言う

E / E / A / E

A B7 E E  
 スピードと爆音に心を奪われた  
 A B7 E A E  
 白い煙をあやつり 大人のフリをした  
 A B7 E B7 C#m  
 仲間達と空き地で 教科書を燃やした  
 A B7 E B7 A  
 正しいもの 全てに 反発してきた

E B7 C#m C#monB  
 十二歳の誕生日に買ってもらった  
 A B7 E E7  
 セキセイインコは自分でカゴを開けて  
 A B7 E B7 C#m  
 大空へ 飛んで いった  
 A B7 E  
 知らない世界を 確かめようとして

E / E / A / E E / E / A / E

E B7 C#m C#monB  
 ひとりで 歩きはじめてから  
 A B7 E / A E  
 耐え切れない寂しさの あることが わかった  
 E B7 C#m C#monB  
 幼い頃 さめた 鍋のフタを 開けて  
 A B7 E  
 口にした 味は うまかったと気付いた

E / E / A / E

A B7 E E  
 ある日 妹から 一通の手紙が 届いた  
 A B7 E A E  
 今まで 何の音沙汰も無かったのに  
 A B7 E B7 C#m  
 悲しいくらいに かぼそい 文字で  
 A B7 E B7 A  
 母の目が見えなくなると 書いてあった

E B7 C#m C#monB  
 十七の誕生日に 大阪を出た  
 A B7 E E7  
 あのセキセイインコが 自分でカゴを 開けて  
 A B7 E B7 C#m  
 大空へ 飛んでいったように  
 A B7 E  
 知らない世界を確かめ ようとして

E / E / A / E E / E / A / E

E B7 C#m C#monB  
 俺はむしように 大阪へ帰りたくなった  
 A B7 E / A E  
 親を悲しませた 罪は 消せないけど  
 E B7 C#m C#monB  
 ただ どうしようもなく 母の顔が見たくて  
 A B7 E  
 懐かしい玄関の扉を 開いた

E / E / A / E

A B7 E E  
 枯れ木のように 細くなった 手で  
 A B7 E A E  
 顔をなぞるように 確かめて  
 A B7 E B7 C#m  
 見えるはずがない 母の目から  
 A B7 E B7 A  
 ひとつじのしずくが こぼれた

E B7 C#m C#monB  
 妹の花嫁姿が見たいと  
 A B7 E E7  
 まるで 口癖の ように  
 A B7 E B7 C#m  
 何度も 何度も 何度も  
 A B7 E  
 つぶやく 母に光を与えてくれ

E B7 C#m C#monB  
 十二歳の誕生日に買ってもらった  
 A B7 E E7

セキセイインコは自分でカゴを開けて  
 A B7 E B7 C#m  
 大空へ 飛んで いった  
 A B7 E  
 知らない世界を 確かめようとして

E / E / A / E E / E / A / E

E B7 C#m C#m  
 誰もが 年老いて 子供に 帰る  
 A B7 E E E E  
 母も そんなひとり なんだろう  
 E B7 C#m C#m  
 セキセイインコを 話し相手に 笑っている  
 A B7  
 今日 母の 誕生日

E / E / A / E E / E / A / E

E B7 A  
 Ah Ah Nana - na -na × 3

# セキセイインコと誕生日

D / D / G / D D / D / G / D

# カポ2原曲

① ②  
 D A7 Bm BmonA  
 白いボールを夢中においかけて  
 G A7 D / G D  
 背番号のないユニフォームが汚れた  
 D A7 Bm BmonA  
 ぐたくたになって帰った家には  
 G A7 D  
 小さな妹が積み木で遊んでる

D / D / G / D

D A7 Bm BmonA  
 どうして お前の親は いつも  
 G A7 D / G D  
 夜になると 出かけていくんだ  
 D A7 Bm BmonA  
 同級生は 首を 斜めに して  
 G A7 D  
 あざ笑うように そう言う

D / D / G / D

G A7 D D  
 スピードと爆音に心を奪われた  
 G A7 D G D  
 白い煙をあやつり 大人のフリをした  
 G A7 D A7 Bm  
 仲間達と空き地で 教科書を燃やした  
 G A7 D A7 G  
 正しいもの 全てに 反発してきた

D A7 Bm BmonA  
 十二歳の誕生日に買ってもらった  
 G A7 D D7  
 セキセイインコは自分でカゴを開けて  
 G A7 D A7 Bm  
 大空へ 飛んで いった  
 G A7 D  
 知らない世界を 確かめようとして

D / D / G / D D / D / G / D

D A7 Bm BmonA  
 ひとりで 歩きはじめてから  
 G A7 D / G D  
 耐え切れない寂しさの あることが わかった  
 D A7 Bm BmonA  
 幼い頃 さめた 鍋のフタを 開けて  
 G A7 D  
 口にした 味は うまかったと気付いた

D / D / G / D

G A7 D D  
 ある日 妹から 一通の手紙が 届いた  
 G A7 D G D  
 今まで 何の音沙汰も無かったのに  
 G A7 D A7 Bm  
 悲しいくらいに かぼそい 文字で  
 G A7 D A7 G  
 母の目が見えなくなると 書いてあった

D A7 Bm BmonA  
 十七の誕生日に 大阪を出た  
 G A7 D D7  
 あのセキセイインコが 自分でカゴを 開けて  
 G A7 D A7 Bm  
 大空へ 飛んでいったように  
 G A7 D  
 知らない世界を確かめ ようとして

D / D / G / D D / D / G / D

D A7 Bm BmonA  
 俺はむしように 大阪へ帰りたくなった  
 G A7 D / G D  
 親を悲しませた 罪は 消せないけど  
 D A7 Bm BmonA  
 ただ どうしようもなく 母の顔が見たくて  
 G A7 D  
 懐かしい玄関の扉を 開いた

D / D / G / D

G A7 D D  
 枯れ木のように 細くなった 手で  
 G A7 D G D  
 顔をなぞるように 確かめて  
 G A7 D A7 Bm  
 見えるはずがない 母の目から  
 G A7 D A7 G  
 ひとずじのしずくが こぼれた

D A7 Bm BmonA  
 妹の花嫁姿が見たい と  
 G A7 D D7  
 まるで 口癖の ように  
 G A7 D A7 Bm  
 何度も 何度も 何度も  
 G A7 D  
 つぶやく 母に光を与えてくれ

D A7 Bm BmonA  
 十二歳の誕生日に買ってもらった  
 G A7 D D7  
 セキセイインコは自分でカゴを開けて  
 G A7 D A7 Bm  
 大空へ 飛んで いった  
 G A7 D  
 知らない世界を 確かめようとして

D / D / G / D D / D / G / D

D A7 Bm Bm  
 誰もが 年老いて 子供に 帰る  
 G A7 D D D D  
 母も そんなひとり なんだらう  
 D A7 Bm Bm  
 セキセイインコを 話し相手に 笑っている  
 G A7  
 今日は 母の 誕生日

D / D / G / D D / D / G / D

D A7 G  
 Ah Ah Nana - na -na × 3